

平成29年度 学校経営方針

比布町立比布中学校

I 教育目標（長期目標）

《比布町義務教育9年間の教育目標「めざす中3」》

（平成26年度小中連携推進委員会）

「生きる力を身につけ、他者とともに よりよく生きる生徒の育成」

学校教育目標（平成25年制定）

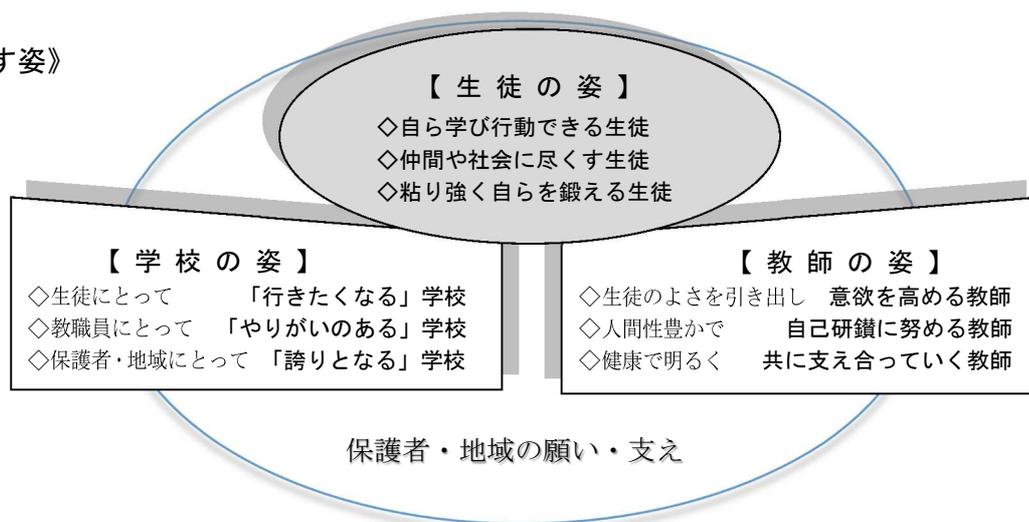
- 進んで学ぶ生徒の育成（知）
- 思いやりあふれる生徒の育成（徳）
- たくましく生きる生徒の育成（体）

《校訓》

誠意

（平成10年制定）

《目指す姿》



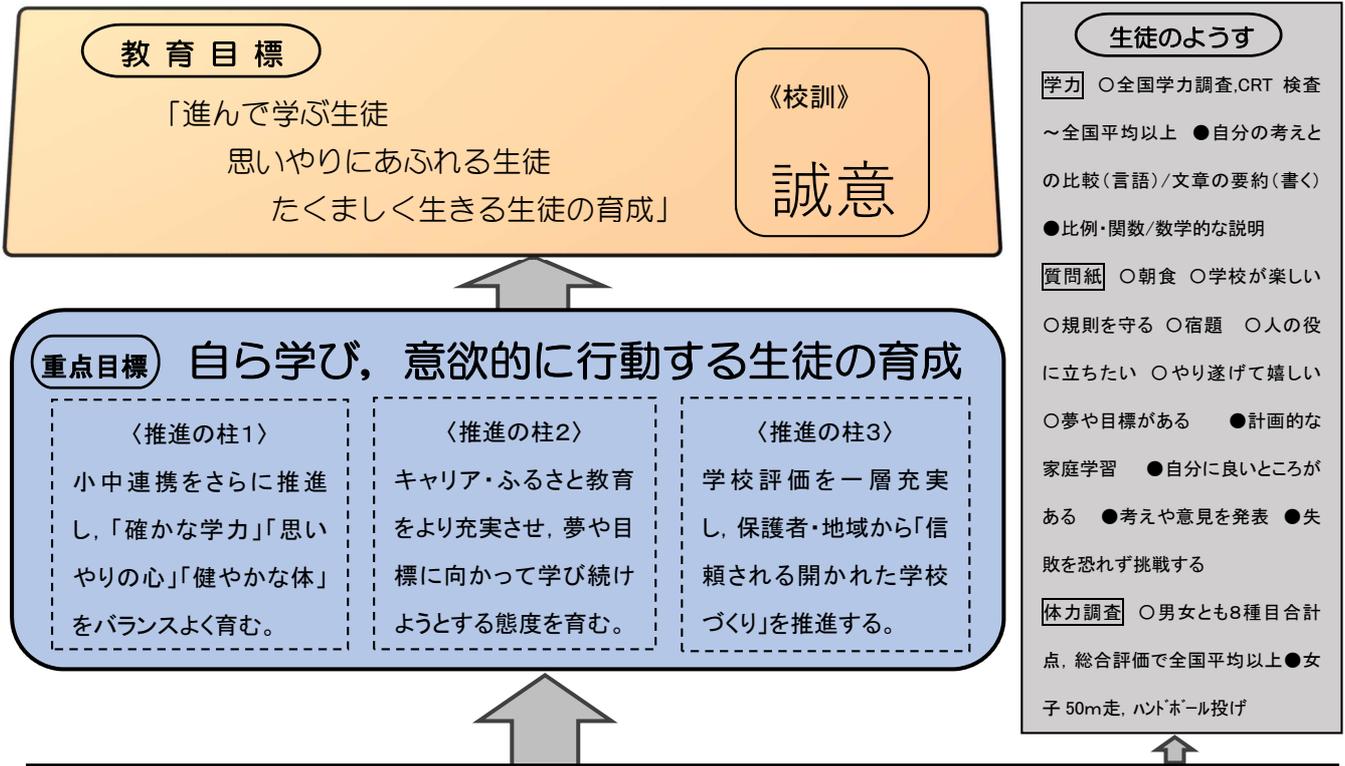
II 重点目標（中期目標）

自ら学び、意欲的に行動する生徒の育成

《推進の柱》

- 1 小中連携を一層進め、「確かな学力」「思いやりの心」「健やかな体」をバランスよく育む。
- 2 キャリア・ふるさと教育をより充実させ、夢や目標に向かって学び続けようとする態度を育む。
- 3 学校評価をさらに充実し、保護者や地域に「信頼される開かれた学校づくり」を推進する。

平成29年度 比布中学校「学校経営の基本構想」

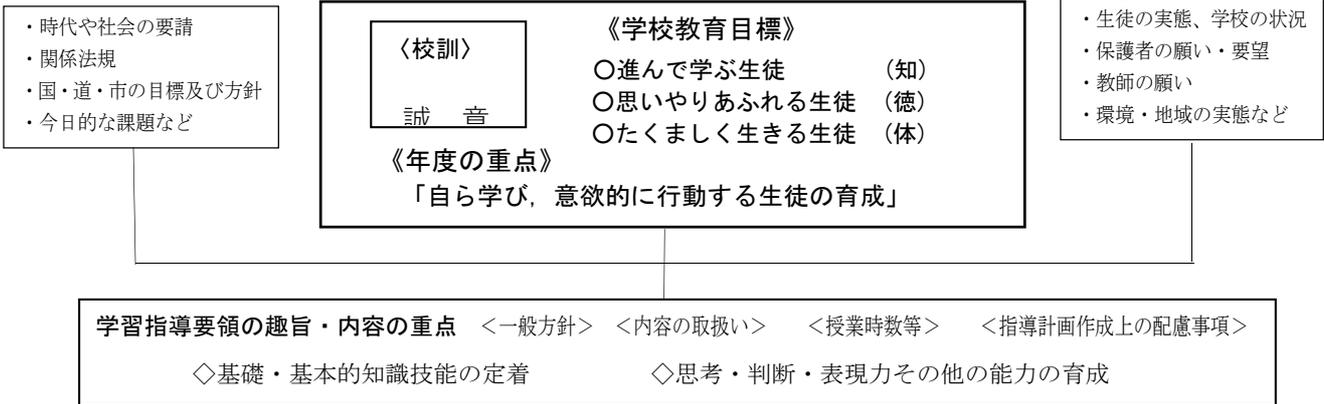


年度の重点施策 (記号:評価資料)		
<重点1> 「確かな学力」を育む 1 学力の定着・向上 (1) 教育課程の創意ある編成・実施 (□) (2) 授業改善の推進 (◎◆△) (3) 学習習慣の定着 (□◆△) 2 特別支援教育の充実(◎) (1) 個に応じた指導の充実 (2) 全ての生徒を対象とする支援の充実 (3) 地域・関係機関との一層の連携 3 キャリア・ふるさと教育の充実 (1) マイノートの有効活用(□) (2) 総合的な学習の時間の充実(◎) (3) 自己実現を目指す進路指導の充実(◎)	<重点2> 「思いやりの心」を育む 1 思いやりの心、実践力の育成 (1) 道徳の授業の改善・充実(◎△) (2) 自発性・社会性を育む特別活動の充実(□◆) (3) 自己指導能力を育む生徒指導の充実(◎△) 「重点4項目～挨拶・提出物・時間・いじめ未然防止」 <重点3> 「健やかな体」を育む 1 体力向上・健康安全指導の充実 (1) 運動能力・体力づくり指導の充実(□◎) (2) 生活リズムの改善(◆△) (3) 保健・安全指導の充実(◎△) (4) バランスのとれた部活動の充実(◎)	
<重点4> 「信頼される開かれた学校づくり」を推進する		
1 協働体制の確立 (1) 学校評価の充実(◎△) (2) 校内研修の充実(◎) (3) 信頼性・危機管理の向上(◎)	2 小中連携教育の一層の推進 (1) 連携コーディネーターの機能化(◎) (2) 中1ギャップの解消(◆) (3) 校舎移転準備計画の作成(◎)	3 保護者・地域との連携推進 (1) 情報発信の工夫(△) (2) 学校関係者評価や保護者アンケートの充実(△)

《評価資料(数値目標)》 「取組と評価の一体化を図る！」

(□)全国学力学習状況調査[全国平均+5以上] (□)チャレンジテスト[上川管内平均以上] (□) CRT[全国平均以上]
 (□) 運動能力・体力調査[全種目全国平均以上] (◎)学校評価 (◆)生徒・授業アンケート (△)保護者アンケート

教育課程編成の基本方針



教 育 課 程

教育課程の編成の方針	<ul style="list-style-type: none"> ○「確かな学力」「思いやりの心」「健やかな体」のバランスの取れた編成を行う。 ○年度の重点目標達成を目指す編成を行う。 ○小中一貫・連携を見通した編成を行う。 		
教育課程編成の重点	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力と学習習慣の定着を重視しながら、「思考・判断・表現力」の育成とのバランスのとれた教科の指導計画を作成する。⇒ 研究テーマとのかかわり ○各教科との関連を図りながら領域の指導を重視して、目標を持って「自ら学ぶ」生徒を育てるとともに、認め合う心を核とした支持的な風土が醸成される指導計画を作成する。 ○小学校の学習内容の系統性を確認しながら、つながりを意識した指導計画を作成する。 		
指 導 の 重 点			
各 教 科	道 徳	特別活動	総合的な学習の時間
<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本的な知識・技能の習得・教材の工夫、TT・習熟度別指導、個別指導等、授業改善の取組 ○「思考・判断・表現力」の育成・アクティブラーニングの手法、ICT活用・言語活動の充実(「問い直し」で言語を鍛える。) ○学習習慣の確立・システム手帳、学習の手引き活用 ○義務教育9年間の視点をもった指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○よりよい生き方を追求する態度の育成 ○認め合う心を基盤によりよい人間関係を築こうとする態度の育成 ○体験活動や教科・他領域との関連を図ったキャリア教育の重視 ○道徳の授業の改善「考え、議論する授業へ」「私たちの道徳」 	<ul style="list-style-type: none"> ○望ましい集団生活を通して自己を伸ばそうとする態度の育成 ○よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度の育成 ○自己の生き方を考え、自己を生かす能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○横断的・総合的・探究的な学習を通して自己の生き方を考えさせる ○課題を解決する資質・能力を育成し、考え方や学び方を身に付ける ○主体的・創造的・協働的に学ぶ態度の育成 ○キャリア・ふるさと教育の充実(地域の教育資源を有効活用)
学習指導の工夫		指導計画作成の方針	
<ul style="list-style-type: none"> ◇基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と個に応じた指導(TT・習熟度別学習)を重視する ◇「思考力・判断力・表現力」を育成する学習活動を重視する。 ◇教科や領域の関連を図り、外部人材・地域素材を積極的に活用した体験的な学習を重視する。 ◇生徒のよさや達成状況を的確に把握・評価し、学習の改善や意欲の向上に生かす。 		<ul style="list-style-type: none"> ◇道徳・特別活動・総合的な学習の時間の全体計画を作成し、各教科との関連を図った指導計画を作成する。 ◇小中連携・一貫教育の視点から計画を見直す。 ◇年度の重点の具現化を目指し、各学年の連携を図りながら指導の重点化に努める 	
授業時数・日課表・時間割等の取扱い		諸条件整備・その他	
<ul style="list-style-type: none"> ◇1単位 50分を基本に標準時数以上を確保する。 ◇ノーチャイムの実施 ◇補習、放課後学習、長期休業中の学習の充実に努める。 ◇日課表、時間割を工夫し、効率的な会議設定(空き時間等の利用)に努め、生徒に向き合う時間の確保に努める。 		<ul style="list-style-type: none"> ◇外部講師、人材の積極的な活用を図る。 ◇ICTの整備と情報・ネットワークを有効活用する。 ◇家庭・地域との連携・協力、関係機関との連携の推進する。(情報発信の工夫) 	